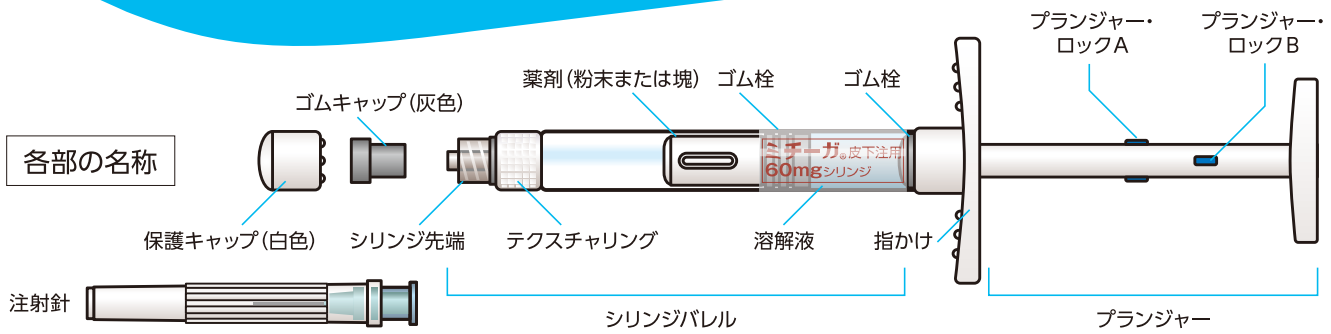


デュアルチャンバーシリンジ (DCS)

操作方法

ミチーガ® 皮下注用 60mg シリンジ



1 清潔な手で容器からデュアルチャンバーシリンジ (DCS) を取り出し、DCS 及び注射針に異常がないか確認ください

- 容器に入っているもの
 - デュアルチャンバーシリンジ (DCS)
 - 注射針: 27ゲージ、1/2インチ (13mm)
- 容器に入っていないもの (ご準備ください)
 - アルコール綿
 - 脱脂綿

DCS について、下記の項目を確認し、異常が認められた場合は使用せず、新しい製品をご使用ください。

- 使用期限内である
- 薬剤が白色である
- 溶解液が透明で異物が混入していない
- 損傷がない
- 液漏れがない
- 白色の保護キャップがついている

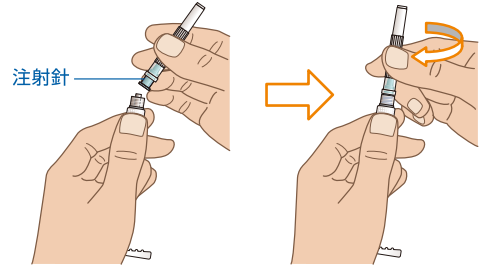
※ シリンジパレル内壁に無色～白色の薬剤のスポットを認めることがあります。異常ではありません。

注射針について、下記の項目を確認し、異常が認められた場合は使用せず、新しい製品をご使用ください。

- 袋及び注射針に損傷がない

3 先端部を上向きに持ち、注射針を取り付けてください

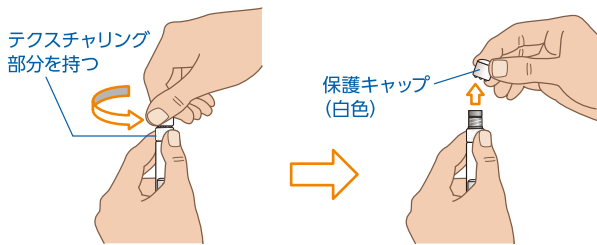
シリンジ先端部を上にして持ち、注射針末端部をシリンジ先端部に、図の矢印の方向にねじ込みながら、回らなくなるまでしっかりと装着します。



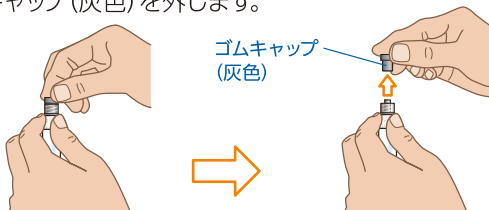
- 以降の操作は、必ずゴムキャップを外し、注射針をつけた状態で行ってください。シリンジ内の圧力が高まり、液漏れが発生することがあります。
- 注射針のキャップは、投与直前に外してください。
- 薬剤がこぼれる可能性があるため DCS は上向きに持ってください。

2 DCS の 2 つのキャップを取り外してください

① シリンジ先端を上に向けて持ち、片方の手で保護キャップ (白色) を、もう片方の手でテクスチャリング部分を持って、保護キャップ (白色) をひねって外します。



② ゴムキャップ (灰色) を外します。

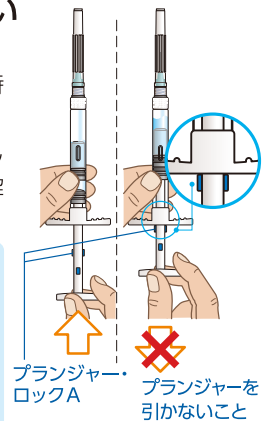


4 薬剤を溶かしてください

① 注射針側を上に向けて DCS を持ちます。

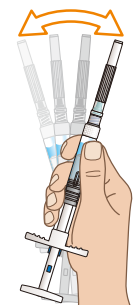
② プランジャーをプランジャー・ロック A で止まるまで押し込み、溶解液を薬剤の部分へ流し込みます。

- プランジャーは押し込んだままにして、引かないでください。薬液が逆流する場合があります。
- 針先から薬液が漏れたり、溶けていない薬剤が先端に詰まる可能性があるため、必ず注射針側を上向きに持ってください。
- プランジャー側に残った溶解液が手元にかかる場合がありますが、問題ありません。



③ そのまま注射針側を上に向けた状態で、DCS を 60 秒以上左右に振とうして、薬剤を溶かしてください。薬液が泡立っても問題ありません。

- 針先から薬液が漏れる可能性がありますので、水平よりも下向きにして振らないでください。

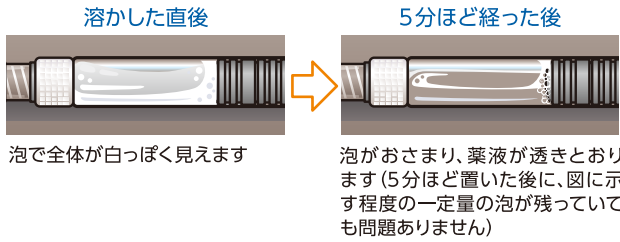


裏面へ続く



操作法の説明動画はこちらから
ご覧いただけます

5 DCSを平らな場所に水平に置き、薬剤が完全に溶けるのを待ちます



- 5分ほど待っても、薬剤が完全に溶けていない場合は、DCSを60秒以上左右に振とうしてから、さらに5分ほど時間を置いてください。それでも溶けていない場合は、もう1度振とうし、5分ほど置くことを繰り返してください。
 - 次のような場合、使用しないでください。
 - 薬剤を溶かした際に、薬液が変色している(正常な色は無色～微黄色です)
 - 振とうと5分ほど置くことを、3回以上繰り返しても、薬液に不溶物が認められる
- ※ゴム栓部へ巻き込まれた薬剤の溶け残りは問題ありません。
- 薬剤を溶かした後は直ちに使用してください。直ちに使用できない場合は30℃以下の室温で保存し、4時間以内に投与してください。

6 空気(気泡)を先端部に移動させてください

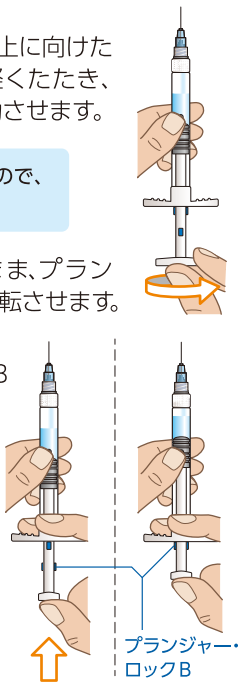
- ①注射針のキャップを外し、注射針を上に向けた状態で、シリンジバレルを指先で軽くたたき、気泡をシリンジバレルの先端に移動させます。

針先から薬液が漏れる可能性がありますので、DCSは上向きに持ってください。

- ②片手でシリンジバレルを持ったまま、プランジャーを図の矢印の方向に90度回転させます。

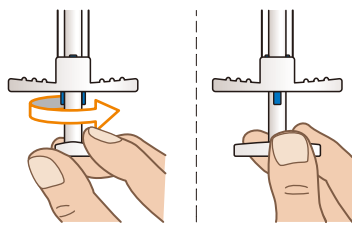
- ③プランジャーをプランジャー・ロックBで止まるまで押し込みます。

- プランジャーを引かないでください。
- 押し込んだ後にシリンジバレル内に少量の空気が残りますが、問題ありません。
- プランジャーを押し込んだときに、針先から薬液が漏れたり、プランジャー側に残った溶解液が手元に流れることがあります。問題ありません。



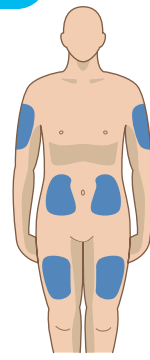
7 投与の前に、ロックを解除してください

注射針を上に向けた状態で、プランジャーを図の矢印の方向に90度回転させてください。こうすることでプランジャーのロックが解除されます。



ロックを解除した後、薬液を投与するとき(注射するとき)にプランジャーを押してください。

8 注射する部位を選んでください



- 腹部(へそから5cm以上離れた部位)
- 大腿部
- 上腕部外側

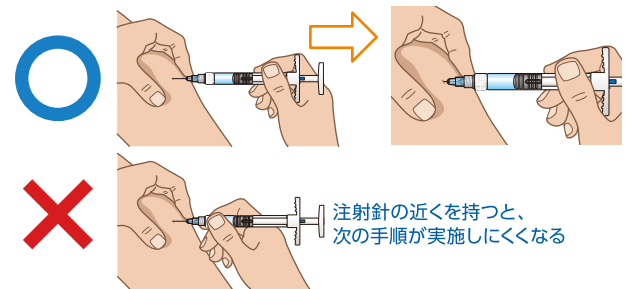
- 正常な皮膚の部位に注射してください。
- 次のような部位への注射は避けてください。
 - 皮膚が敏感な部位
 - 皮膚に損傷、打撲や傷のある部位
 - アトピー性皮膚炎の強い炎症を伴う部位
- 毎回、部位を変えて注射してください。

9 注射針を皮膚に刺してください

- ①注射する部位を、アルコール綿でふいて消毒します。
- ②注射の直前に、シリンジバレル内の空気を抜きます。このとき、小さな気泡が残っていても問題ありません。
- ③片方の手でシリンジの指かけの近くを持ち、もう片方の手で注射する部位の皮膚を優しくつまみ、そこに注射針を刺します。

DCSの指かけの近くを持つ(プランジャーは持たない)

皮膚に対して約45度の角度で刺し込む



注射針を刺した後は、同じ角度で刺したままにしておいてください。

10 薬液を注入してください

- ①注射針を刺した後、図のように、DCSを人差し指と中指で挟むような形で指かけに両指をかけ、プランジャーを親指でゆっくり押し下げます。
- ②薬液がすべて注入されるまでプランジャーをゆっくりと押し下げてください。

注射針を刺した後は、同じ角度で刺したままにしておいてください。

- ③注射後は、注射針を挿入時と同じ角度を保ちながら、人差し指と中指で指かけを引っ張るようにして抜いていきます。

- 投与部位はもまないでください。
- 出血した場合は、脱脂綿で軽く押さえてください。

11 使用済みの注射針つきDCSとキャップは各市区町村の廃棄ルールなどに従い廃棄してください

DCSや注射針の使用は1回限りとし、再使用しないでください。